



生活指導便り 10月号

渋谷区立広尾中学校 生徒部

今年度の半분이終了！

前期の終わりまではもう少しありますが、4月から数えて約半年が過ぎました。カレンダーをめくると今年も残り3か月というところまで来ました。皆さんは、前期を振り返ってみて、どのようなことが印象に残っていますか？何か成果を得た人もいれば、思うようにいかず悔しい思いをした人もいるかもしれません。一つ一つの経験が皆さんの今を創っている大事な要素です。無駄のように思えることもどこかで活用できるかもしれません。それを活用できるかどうかは皆さんの考え方一つです。ぜひ自分を振り返って考えてみてください。また、後期に向けて新たなことに挑戦したり、現在努力していることを継続したりと考えることも大切です。前期が終わり、後期が始まるこの時期に自分自身のことを見つめることでさらに成長してほしいと思います。振り返りのことを英語でリフレクションと言いますが、良かったことも思うようにできなかったことも考えてみてください。

さて、今年の夏休み以降は台風や秋雨前線の影響により雨が長く続き、災害も多かったです。例年の秋という四季が薄れてきているように感じますが、秋は何をするにも活動しやすい時期と昔から言われています。「〇〇の秋」という言葉で、秋に関連するさまざまな活動や楽しみを表現します。皆さんは、どんな秋にしますか？やらない理由を探すことは簡単ですが、この機会にやってみよう！と行動を起こしてみるのも良いと思います。ふだん思っている行動できていない人は、ぜひ「〇〇の秋」を楽しんでみてください。



落ち着いた学校生活

夏休み明け、全校の皆さんに、授業を大切にすることについて全校朝礼で話をしました。その後の授業の様子を見ると、話を聞く姿勢や学習に取り組む態度など、全体として落ち着きが生まれてきています。一人一人が意識し、より良い授業にしようと行動している成果だと思います。まずは、これまでの自分たちの変化と成長に自信をもってください。

しかし、広尾中学校の皆さんなら、ここで満足せず、さらに上を目指せるはずです。誰かの頑張りを冷やかしたり、互いに足を引っ張り合ったりするのではなく、努力する仲間を認め、励まし、良い姿から学び合う集団になってほしいと思います。落ち着いた学校生活とは、ただ静かに過ごすことではありません。一人一人が安心して学び、自分の力を伸ばしながら、周りの仲間の成長も支えられる生活です。そのためには、授業の始まりを意識すること、先生や仲間の話を最後まで聞くこと、分からないことをそのままにせず互いに教え合うことが大切です。周りが集中できていないときには、注意するだけでなく、一緒に取り組もうと前向きに声を掛けてください。自分だけが頑張るのではなく、学級や学年全体が良くなるために自分に何ができるかを考え、行動に移してほしいと思います。毎日の小さな積み重ねが、誰もが安心して挑戦できる、より良い広尾中学校をつくれます。互いの良さを引き出し、高め合う広尾中生として、授業にも日々の学校生活にも一段高い意識で取り組んでいきましょう。

協力してやり遂げよう

今月の生活目標は、「協力してやり遂げよう」です。

10月は、若木祭(合唱コンクール)があります。美しい合唱は、一人だけの力でつくることはできません。それぞれが自分の役割を果たし、仲間の声を聴き、互いの思いや考えを大切にしながら練習を重ねることで、そのクラスらしい一つの歌声が生まれます。練習が思うように進まないときこそ、誰かを責めるのではなく、より良い合唱にするために自分にできることを考え、声を掛け合うことが大切です。若木祭に向けた取組を通して、学級や学年の仲間と力を合わせ、一つの目標をやり遂げる喜びを感じてほしいと思います。そこで今月は、協力することの大切さについて考えてみましょう。

協力する大切さ。

協力することの大切さは、学校生活だけでなく、社会に出てからも非常に重要です。協力とは、互いに助け合い、それぞれの強みを活かして大きな目標を達成するために不可欠なものです。自分一人では成し遂げられないことも、周囲と協力することで乗り越えることができ、新しい発見や成長の機会につながります。また、協力する中で相手の意見を尊重したり、自分とは異なる考え方を知ったりすることで、コミュニケーション能力や思いやりの心も育まれます。

さらに、協力することで生まれる達成感や一体感は、仲間との信頼関係を深めるだけでなく、自信ややる気にもつながります。困難な課題にも前向きに取り組めるようになり、みんなで努力することの喜びを実感できるでしょう。協力の大切さを意識し、日々の生活や活動の中で実践することが、より良い学校生活、そして社会生活にもつながっていきます。

【協力することで得られること】

■大きな目標が達成できる

何か同じ目標を達成するために集まった集団をチームと言い、チームで協力することをチームワークと英語では表現します。このチームワークがうまく機能することによって得られる一番のメリットは、個人単位では実現不可能な大きな目標を達成できるという点です。同じ目標を達成するために全員が協力することで、個人の力を越えた成果を引き出すことができます。また、チームワークを築くことで、立てる目標もより大きいものに設定することができるため、組織全体の成長にも寄与することができます。

■メンバーのモチベーション向上につながる

お互いの能力を評価・信頼する関係を築くことで、メンバーのモチベーション向上につながります。チームメンバーの満足度を高めたり、スキルを向上させたりするなど、個人に良い影響を及ぼすことも、チームワークを築く大きなメリットと言えます。チームワークが良好な環境では、メンバー同士の信頼関係も築きやすくなります。チームの結束力が高まったり、一体感が醸成されたりすることで、組織としてのパフォーマンスの最大化にもつながるのです。

